

V. 特記事項

「ゼミ活動を通じた一貫教育と活性化支援」

1. 4年間を通じたゼミでの指導

表 2-2-1 のように 4 年間を通じて全学必修のゼミを開講しており、学生は入学から卒業まで、修学だけでなく、学生生活全般について教員に相談することができる。また、学生指導のための手引書として「学生支援 HAND BOOK」を教育・学習支援センターが発行し、担当教員に配布して指導に役立てている。【資料 特-1】 【資料 特-2】

表 2-2-1 4 年間のゼミ体系

学部・学科	1 年	2 年	3 年	4 年
全学部対象	大学入門ゼミ (前期) 興動人入門ゼミ (後期)	プレゼミ (後期) ※1 ※2	演習 I	演習 II

※1 2 年前期はアドバイザー制度を導入、

※2 メディアビジネス学部ビジネス情報学科のみ 2 年次前期に「ビジネス情報入門ゼミ」を設置

2. 4年間のゼミ指導を支えるための活性化支援策

4 年間の学び、特にゼミでの学びをより深いものにするため、ゼミ対象のユニークな施策を講じている。

(1)ゼミにおける特別な教育に対する支援金

ゼミにおける特別な教育に対する支援金とは、それぞれのゼミが教員を中心として、ゼミの授業以外で積極的に学びへの活動を行った際に支援される経費で、主にゼミ合宿、県内外でのフィールドワーク、企業見学などの活動を行った際に支払われる。上限は 10 万円までで、過去 3 年間の利用は平成 30(2019)年度が 37 件、161 万円 (1 事業平均 44,000 円)、令和元(2019)年度には 35 件、185 万円余り (1 事業平均 53,000 円) の拠出であった。2 年生以上のゼミを担当する教員のうち 35%が利用している。【資料 特-3】

(2)ゼミにおける指導教員に対する支援金

ゼミにおける指導教員に対する支援金として、ゼミ内の懇親会等に参加する教員に支援金として 1 回あたり 5,000 を支給している。ゼミ生同士の関係性構築と合わせて、懇親会に参加する教員への負担軽減に貢献している。令和元(2019)年は 104 件 53 万円余り拠出している。【資料 特-4】

(3)全学ゼミ対抗スポーツ大会

冒頭の目的を達成するために、教員とゼミ生がともに汗を流すこと、チームスポーツを体験する行事を実施している。平成 17(2005)年度から全学ゼミ対抗スポーツ大会として実施している種目はソフトバレーボール、フットサル、ソフトボールである。令和元(2019)年度の参加人数は 934 名、参加チームも 87、ゼミ担当教員は半数の 56 名が参加するイベントになっている。【資料 特-5】